

ゆらの通信

Vol.17
平成25年9月

この夏由良野の森を襲った渇水。毎日の水汲みが8月10日から14日間続いた断水も秋雨前線がやってきて解消。やれやれと気が付けば9月1日。久万高原はすっかり秋の気配が漂っています。10年目を迎えた由良野の森は現在大所帯です。20数羽のニワトリにヤギ3頭、ヒツジが4頭。森には、せっかく開墾整地した所に巨大な穴を掘るイノシシ家族。空から森を偵察するのに余念のないカラス一家は、畑の作物でせっせと子育て中。地面を這いながらの由良野に居を構えたアオダイショウは、放し飼いのニワトリの卵を食べて巨大に成長。猫の手も借りたい畑の草は羊たちが畑に乱入！！で良質の毛並みに…。

なかなか思ったようにならないことが分かり始めた10年目。「自然と人の相互依存と共生関係の本来の姿を求めて」この秋からヘルパー大募集をはじめます。

2013年1月17日 寒い寒い空の下みんな元気です。

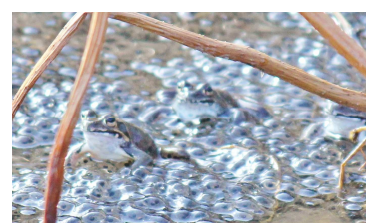
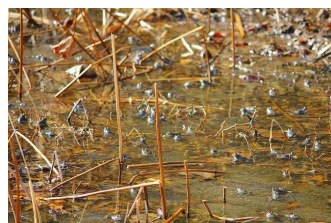
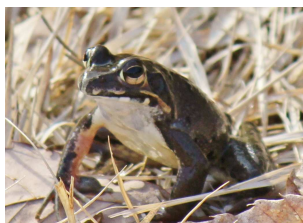
ヒツジは寒い冬でも平気です



雪の日は脚が冷たいので薪小屋の前の軒の下で雪宿り

2013年2月2日 ヤマアカガエルとノスリ

少し寒さが緩み、雪が解けたのでヤマアカガエルたちが産卵にやってきました。毎年同じ時期に同じように。でも今年はやけに個体数が多い気がしました。そして同じ日、最近よく見る鳥を撮影。久しぶりにクマタカか～！！調べてみると「ノスリ」。山本栄治さんに確認したら間違いのないとのこと。毎日同じ木の上で森の偵察をしています。



きれいな声からは想像できないとても地味なカエル



クマタカ…じゃあなかったけど、悠々としています。



2013年2月12日 ヤギのオジョウ2頭出産

もうすぐ2歳になるオジョウ。今年も2頭出産しました。
お厩前に声がするので行ってみるとすでに1頭生まれていました。今年で2度目なので安産だったようです。



2013年2月14日 1日開けてヤギのみみこ出産。

6歳になる「みみこ」は由良野で3度目の出産。今年は3頭生まれました。厩間に生まれそうな兆候があったのですが、夕方家族で出かけねければならず、管理人の父に覗いてみてほしいとお願いした所、すでに産み始めていたとのこと。一頭は逆子だったので引っ張り出してくれたそうです。よかった。



仔ヤギたちは、
それぞれ県内各地にも
らわれていきました。

2013年3月1日 ヒツジのハナが出産

雨の降る夕方日が沈んだ頃、干し草を与えに小屋に行ったところ生まれたばかりの仔ヒツジ発見。雨に濡れ、泥だらけでした。抱き上げたところ、側には胎盤も見つかりました。母ヒツジのハナは数メートル先にいるので見に行くと、もう1頭の仔ヒツジが冷たく、硬くなって転がっていました。もうだめかも・・・と思いながらもよく見ると僅かながら息をしているので、2頭とも急いで家に連れ帰りました。お風呂で暖かいシャワーで温めながらたたいて刺激。長い長い時間感じます。30分近くシャワーで温め、良く拭いてストーブの前で温め続けること3時間やっと体が動き出し立ち上がりました。急いでハナの所に戻してみましたが、もう匂いがなくなってしまったせいか、自分の仔とは認識せず他に仔ヒツジを探して2日鳴き続けました。生き返ったものの母ヒツジからおっぱいをももらえなくなったので、管理人家族が自宅で育てることになりました。何とか初乳をと思いハナの乳房を探したのですが、あまりに小さすぎて搾りにくい。2本の指で搾り、1時間で50ccほど。以後はヤギの乳を別けてもらったり、牛乳を購入して飼育しました。

タオルで拭いて、あっためて
るところ。やっと目を開けた！？



寒い高原の冬。
生まれて一日目のヒツジたち。



はじめて見た！
ヒツジのおっぱいです。
ふさふさの羊毛に隠れていました。

2013年3月3日 仔ヒツジの「ペー」と「メー」

何とか元気になった仔ヒツジたち。一命をとりとめた方を「ペー」。後から生まれた方を「メー」と命名しました。2日後には子どもたちと散歩に出かけられるようになりました。今までも、育児放棄されたひよこや、持ち込まれた野兎の子や仔山羊とも暮らしてきましたが。今年はヒツジ！！



二頭を散歩に連れ出す森の兄弟。

お母さんと一緒なら、親を追いかけて歩き始めているはずなので早くから外の空気に慣れてもらおうと連れ出しました。いつも、動物の子どもをそだてる時は先のことを考えます。



おっばい命！！
人間からミルクをもらったヒツジは、今も人を恐れず、とても人懐っこいヒツジに育っています。
森にお越しの際はきっと歓迎を受けることでしょう…。

2013年3月20日 植樹in由良野の森

毎年恒例の植樹。今年は実のなる果樹を中心に植えました。プラムにリンゴ、カキ、栗などをアグロフォレストリー実験農場に。杏子とサクランボを水源地の横に植樹。湯水の続いた今夏ですが、何とか根付いてくれたらと思います。また、茶の植え替えを行ったのですが、ひと月もしないうちに一晩で殆どをイノシシに掘り起こされてしまいました。どうしてわざわざ…。残念です。



雨の中、朝の早い時間から来て下さったたくさんの会員の皆様、ありがとうございました。またまた、この後の手入れ草刈り隊を募集したいと思っています！！

2013年3月22日 キューバ農業研究者の吉田太郎氏 来られる。

吉田太郎さんは元都庁職員で、現在は長野県立農業大学の先生です。今回は休暇で愛媛に来られており、森を訪ねて下さいました。中米キューバの農業に学ぶと持続可能な社会がみえてくる！？お話を聞いて今まで持っていたキューバのイメージは180度変わりました。先日植えたアグロフォレストリーの植樹と重なり、妙に共時性を感じました。次回はぜひ「ゆらの」でお呼びしたいです。



吉田さんの話を聞きに、わざわざ遠くから由良野まで訪ねて来られた方も。

農業だけでなく、教育レベルも国際比較で非常に高いキューバの秘密。
近隣諸国に医師を派遣するほど医学校も充実しているのだそうです。
国の魅力は経済力だけでは無いようですね。

2013年3月23日 映画監督 鎌仲ひとみ氏来られる。

今までも何回か森を訪ねて下さっているドキュメンタリー映像作家の鎌仲監督。
松山から高知に行かれる途中に立ち寄っていただきました。



監督は、3・11以前から放射能や核の問題を取り上げてきた方で、NHKで放送された『HIBAKUSHA』はイラク戦争の後を描いた作品です。最新のドキュメンタリーは『内部被ばくを生き抜く』。現在『小さき声のカノン』という福島の人たちの3・11後を描いた映画が上映中です。

由良野でも、3・11以降、福島県から母子の方を受け入れて一緒に学校に通ったこともあって、関心を持ち続けています。

人と自然が共生・共依存していくこと。
この星で暮らしていくということについてまずは心を寄せることを
続けていたいと思います。

2013年3月25日 由良野の大豆で手前味噌作り

昨年ゆらので栽培した大豆を使って『味噌づくり』をしました。
ちょうどゲストハウスに滞在していた、スタディーツアー（全国からやってきて、自然と人の暮らしを体験、視野を広げて世界を学んでいくというツアー）の若者たちを巻き込んでのワークショップ。
まずは薪を使い窯で豆を湯がくところから始めます。これがなかなか・・・。



2013年3月26日 「パー」と「メー」少し大きくなってきました。

生まれて一か月弱の仔ヒツジたち。元気に育ってきています。

草を食べるよう
になりました。



お母さんがいなくても、二人いる
から寂しくない？
生え始めた草を食ってます。

穏やかにくれる春の午後…まだまだ寒い高原。

2013年4月13・14日 劇団ヴォイス 野外劇「お気に召すまま」(シェークスピア原作)と併設 カフェ シェークスピア
Shakespeareってこんなに面白かったの??

2006年から7年ぶりの劇団ヴォイスの野外劇です。随分前からの打ち合わせ。ステージと掘っ立て小屋の舞台づくり。そして劇団の皆さんの稽古。

非常に贅沢な由良野の森の「お気に召すまま」が13日夜と14日の午後2回上演されました。子どもから大人まで楽しんだシェークスピア。学校で原作を研究していたという会員の方は「ほぼ原作通り。」と喜んでいました。シェークスピアの時代と雰囲気合わせたカフェも併設!!

愛媛新聞でも取り上げられました



大盛況の舞台



おしゃれなcafeでおいしいスイーツも



2013年4月19日 農協からニワトリの60日雛がやってきた。

かなり大きいのですが「ピヨピヨ」鳴いています。

毎年やってくる60日雛が今年もやってきました。夏には卵を産み始めます。さっそく「ベー」「マー」とご対面。こちらはまだ50日ヒツジ。どちらも小さいうちは可愛いですね。



若草のうれしい春。
生き物も命あふれる春は心弾みます。

2013年5月5日 会員の先野さんがもってきた不思議な装置(環境改善装置?)

いつも不思議なものを持って来る先野さんは実は車屋さんのメカニック。今回は環境改善装置。強力な永久磁石を並べたディスクが高速で回っています。様々な使い方があるそうです。実は6月の総会でも紹介されていました。磁石の不思議が解明されるのはもうすぐでしょうか。なんだか気持ちがいいのか、動物たちが集まってきて休み始めました。



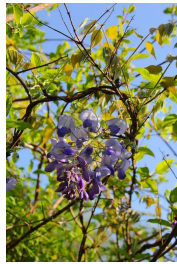
ここにいると、いろんなことがあって
山の中で暮らしてるとは思えない…ってこと
しょっちゅうです。
好奇心いっぱいの動物たち。人も物も怖がらない。

2013年5月6日 ゴールデンウィークは新緑の美しいころ

やっと新緑がうれしい時期になりました。藤の花が森のあちこちにきれいな紫を浮かべます。仔ヒツジも柔らかな草に大喜び。共生林からは遠く大川峰。大きく深呼吸。空気が美味しい！！



ヒツジもうれしい？



小田深山連山を眺める。



2013年5月19日 Sheep Shearing ひつじの毛刈りday

昨年の6月に菊間の作業所こまどりからやってきた、「リキ」(力)と「ハナ」(華)の毛刈りの時期がやってきました。今年は由良野で初めての毛刈り。こまどりのスタッフで会員の菅さんは、ヒツジ飼いの大先輩。先日も仲間と一緒に、「ベー」と「マー」の尻尾切断の指導に来てくださいました。前日に「リキ」の毛刈りの指導をしていただき。19日はハナの毛刈りを皆で体験。管理人がオロオロしている間に、こまどりのスタッフでベテラン森川さんがさりげなくサポートしてくださいました。すっかり丸裸のヒツジさん。まるで別の生き物です。刈った毛は工房天月で、糸になり布などに加工される予定です。



毛刈り前3月の様子



毛刈りのあとのリキ君。

2013年6月9日 第50回こども森林博士号講座。(森を探検しよう — 初夏の森)

初夏の由良野の森は、命がいっぱい！小雨だけど探検に出かけました。虫を追いかけてドンドン森の中へ。アザミにスイカズラの香り。いろんな植物を採取しました。藪の中には野イチゴがいっぱい。一度食べ始めたらもうイチゴしか目に入らない。雨も降り始めたのでゲストハウスへ戻り、講師の山本栄治さんに初夏の森の生き物を解説していただきました。皆さん、あの小さな赤い木の実、名前覚えてますか？



2013年6月9日 2013年度 ゆらの総会 由良野の森ゲストハウスにて

午後から行われた総会。10年目を迎えた由良野の森で代表清水秀明氏の挨拶から。昨年の活動報告・会計報告がおこなわれました（総会報告は別紙にて）。なにより一番画期的だったのが今年初の試み「自己紹介」。参加した会員の皆さんの個性に全員が楽しい時間になりました。「なんと！」素晴らしい会になりました。総会終了後は希望者で共生林の雑木山の天辺までお散歩ツアーを行いました。雨の中の散歩も幻想的で自然との一体感が素敵でした。



ゆらの代表あいさつ



皆さんもぜひ！すごく素敵な森のウォークトレイル

2013年6月10日 北海道二風谷より アシリ・レラ（山道康子）さんのカムイノミ。

簡単に紹介すると北海道アイヌのシャーマン、アシリ・レラさん。縁があって由良野の森を訪ねて来られました。予定にはなかったそうですが、急遽共生林にある由良野第一遺跡でカムイノミ（アイヌの儀式で神様と交流すること）をすることに！！「縄文人はアイヌの先祖だから…」と（第一遺跡は縄文遺跡で祭事の跡があった所です）ほんとお母さんという感じの、あったかい人。「誰のためでもない。自分のため、子どもたちのためにも地球をきれいにしてカムイにかえしてあげないとね。アイヌ・ネノアン・アイヌ（人間らしい、人間）でありますように。アイヌとは人間という意味。」「人間の義務はね、万物の霊長としてすべての生き物のために祈ること」と教えてくれました。



もちろん、管理人夫婦も初体験！
詳しくは直接お話ししますよ……。すごかった。



森を守ってね…と
レラさんから頂いた
アイヌ刺繍の入った
巻きスカート。

なんだか突然の
さーっとふいた風のよ
うな人でした。

2013年6月12日 桑の実が大豊作。

今年は雨が少なく桑の実が大豊作。まだまだとっていたら天気が続く、気温が高くあつという間に黒紫に熟れ始めました。沢山会員の皆さんも取りに来られましたが、それでも全体の1%にもならないでしょう。由良野のニワトリをはじめ、沢山の野鳥とタヌキやイノシシたちのお腹を満たしていました。巨大なアオダイショウも間違えてやってきました。何しに来たんでしょう？



2013年6月14日 羊毛をクリーニング。

やっとのことで、先月毛刈りした羊毛のフリースを洗いました。ゆらの会員のクリーニング屋さんにお伺いしたところ、体温くらいのぬるま湯で洗うのが、一番汚れが落ちてきれいになるとのこと。洗剤も純石鹼を使用。ゴミを取って、よく乾かして糸に紡ぎます。

少しずつ洗ってます。

関心のある方、やってみ
たい方ご連絡ください。

紡いだり、掃除したり。
工房で仕事してます。



パックスナチュロンの
純粉石けんを使用しました。

100%石鹼だけなのでウー
ルも縮まない。
最上流なので水を汚さないで

2013年7月1・2日 地元久万中学校1年生宿泊訓練で由良野の森で藍染体験。

毎年恒例の中学生・集団宿泊訓練の一環で藍染教室を開いています。二日間にわたって約60人の13歳たちがやってきて藍染や森の体験を（これはおまけだけど）します。こどもたちにこの町の『こんな楽しみ方あるよ〜』をほんの少しご紹介！！ヒツジもヤギも参加。



世界に一つのオリジナルだから、とっても素敵！



沢登りに夢中の生徒さんたち。実はこっちの方が楽しい??



毎年思うんだけど、意外と男の子の方が熱心なんです。ね。



2013年7月13日 ヤブカンソウが咲きました

このあたりには、なくなってしまっていたので、たくさんあるところから移植して8年。森のあちこちに咲きました。春には食べられる山菜としても重宝してます。かつては沢山咲いていたという里山の風景に近づいていますか??



2013年7月14日 森のコンサート

会員で音楽を愛好する東温市の渡部さんご夫妻と、音楽仲間の皆さんが開いてくださいました。今年で2回目になります。普段はそれぞれのお仕事をされながら音楽を続けています。暖かい雰囲気の中、森の素敵な室内音楽会になりました。おとなな時間…ありがとうございました。

夏を告げる恒例企画になればうれしいですねー



2013年7月17日 ニワトリ小屋前でピワの実が豊作です。

冬の寒さと標高の高さ。この条件で、このあたりでは実を結ばないはずのピワがこの夏、たくさんできました。実は食べた種を植えたのが17年前。植木鉢からこの地に植えられて8年くらいでしょうか??小さいけれど、甘くて濃い味のするピワでした。



2013年8月8日 グリーンピースジャパンのシニアオフィサーからお話を聞く

Think globally, Act locally and globally. ホームページ(www.greenpeace.org/japan)

国際的な環境保護活動をするグリーンピースの方が、ご縁あって森に滞在されお話を伺う機会がありました。どこに暮らしていても、何をしても世界は一つにつながっている・・・ということを感じました。

活動について説明してくださっているシニアオフィサーの金繁典子さん（愛媛県出身）。

急なお声かけに来て下さった会員の方もいらっしゃいました。



森林を守る。海を守る。
食を守る。汚染をなくす。
平和を守る。自然エネルギーを増やす。
などが活動分野。世界のサポーターは個人だけで280万人だそうです。

2013年8月11日 第51回こども森林博士号講座
川ってこんなに楽しかったの??

夏の恒例行事。由良野の森を下って2キロの二名川で川の生き物を見つけたり、遊んだりします。今年も湯水の最中でほんとに水が少なく、温かい?水温にちょっとたじろぎましたが…。元気な子供たちと子供心を忘れない大人。会員外で初めて参加の方もいらして大盛況でした。



ここはアジアなんだなと改めて実感



今年も釣る!!
皆のあこがれ、こども博士



2013年8月11日 今年で7回目 手打ちうどん体験

今年も森でおいしいうどんをいただくことが出来ました。松山のうどん坊、中塚さんご夫妻に感謝です。慣れた人も、初めて参加の人も自分で打ったうどんに特製のだしと薬味で大満足。午後は川遊びとお楽しみ満載の夏休み。



いっちょ上がり!!



2013年8月1・2日 由良野の森 夏休み特別企画！！棟梁と造るツリーハウス
ほんとの大工棟梁と過ごす2日間

企画段階から実施までわずか3か月??の異例のスピードに、文句も言わず対応して下さった勝本棟梁に感謝。考えてみたら子どもの合宿企画は初めて。親と離れて泊りがけで作業した子どもたち楽しかったかな??夏休みの木工作品??軽い軽い…って感じになったはず。実物は森で！！



棟梁発案のツリーハウス用の金物を制作して下さった、会員で鉄工所をされている松崎さんご夫婦。お忙しい中ありがとうございました。



準備期間1週間。安全第一に準備していただきました。感謝です。特製金具を使って土台を組む棟梁。実は準備に泊まり込んで・・・完成したツリーハウスの土台とデッキ。



一日目のはじまり～。怪我なしで！



カケヤでホソを入れる



木を運ぶ、骨組みを組む



空中に浮かぶ基地ツリーハウス

二日目釘を打つ…



外壁の板を張る作業

二日目はだいぶ仕事になってきた？

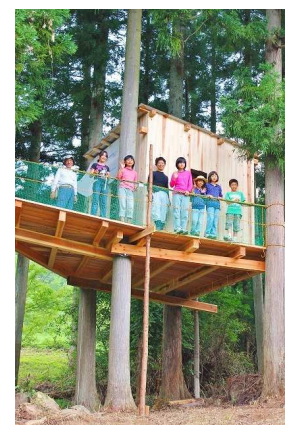
子どもたちも小雨の降るなか気合が入ります。

風の通り道にできたツリーハウスからの眺めは最高でした。中には大工を志そうか～??

という子も。愛媛新聞にも取り上げていただきました。次はお泊り会！！イエイ！



ツリーハウスからの眺め



事務局より

すっかり発行が遅れた「ゆらの通信」です。ページ数が多くなりましたがご勘弁ください。総会の報告や会員の皆様からのメッセージも同封いたします。車がなくて森に来られない方にも何か方法を考えようと思っています。アイデアがあればお知らせください。また、由良野の森のヘルパーを募集します。会員のみならずご協力いただける方、ご連絡ください。詳細をお知らせします。